

製品名: HIF1AN ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84314**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	40 kDa

抗原情報

遺伝子名	HIF1AN
別名	FIH 1; FIH1; HIF1AN;;HIF 1 alpha inhibitor
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9NWT6
免疫原	ヒト HIF1α 阻害剤由来の合成ペプチド

背景

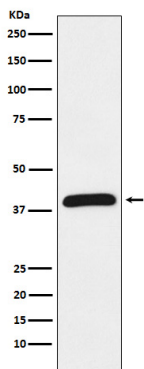
HIF-1α の C 末端転写活性化ドメイン (CAD) 内の「Asn-803」を水酸化する。酸素センサーとして機能し、常酸素条件下では、この

水酸化により HIF-1 と Cbp/p300 相互作用転写活性化因子を含む転写共活性化因子との相互作用が阻害される。HIF1A、VHL、ヒストン脱アセチル化酵素との相互作用を介して転写抑制に関与する。NFKB1、NFKBIA、NOTCH1、ASB4、PPP1R12A、およびその他の ARD 含有タンパク質のアンキリンリピートドメイン (ARD) 内の特定の Asn 残基を水酸化する。

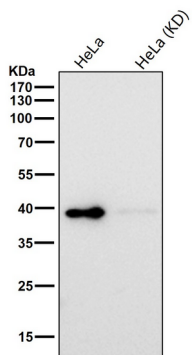
研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の HIF1AN 発現のウェスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1k 希釈で使用し、室温で 1 時間反応させます。